

東林館高等学校 通信教育実施計画

科目名(単位数)		英語コミュニケーション I (3)			
対象年次			期別	必要面接時数	レポート数
原則1年次			通年	12	9
科目の概要	基礎的な英文内容を理解するとともに、興味のある身近な話題を取り上げて、英語で言語活動を行う。				
科目の目標	基礎的な英文内容を通して、言語や文化に対する理解を深め、英語に親しもうとする。				
年間学習計画・学習のねらい	学習内容	到達目標	スクーリング回	レポート回	試験範囲
	Warm-up 3 Pre-Lesson1	疑問詞/be動詞に関する表現を身に着ける。	1	1	前期
	Pre-Lesson2/英文の仕組み	本文内容を正しく理解し、be動詞/一般動詞に関する表現を身に着ける。	2	2	
	Lesson1 Breakfast around the World	本文内容を正しく理解し、過去形に関する表現を身に着ける。	3	3	
	Lesson2 Australia's Cute Quokkas	本文内容を正しく理解し、進行形に関する表現を身に着ける。	4	4	
	Lesson3 A Train Driver in Sanriku	本文内容を正しく理解し、助動詞に関する表現を身に着ける。	5	4	
	Lesson4 A Miracle Mirror	本文内容を正しく理解し、to 不定詞に関する表現を身に着ける。	6	5	
	Lesson5 Learning from the Sea	本文内容を正しく理解し、動名詞に関する表現を身に着ける。	7	6	後期
	Lesson6 A Funny Picture from the Edo Period	本文内容を正しく理解し、受け身に関する表現を身に着ける。	8		
	Lesson7 A Diary of Hope	本文内容を正しく理解し、比較表現に関する表現を身に着ける。	9	7	
	Lesson8 A Door to a New Life	本文内容を正しく理解し、現在完了形に関する表現を身に着ける。	10	8	
	Lesson9 Fighting Plastic Pollution	本文内容を正しく理解し、分詞に関する表現を身に着ける。	11	9	
	Lesson10 Pigs from across the Sea	本文内容を正しく理解し、関係代名詞に関する表現を身に着ける。	12		
評価方法	年度末の成績評価は、レポートやスクーリング、試験の得点を総合的に判断する。 レポート:教科書や学習書を活用し、取り組むこと。 スクーリング:年間計画に従い、各自で予習・復習に取り組むこと。 試験の得点:追試験の得点は、定期試験の得点と同等には扱わない。				
単位の修得	①レポート:締め切りまでに所定のレポートを提出し、合格すること。 ②スクーリング:年間12時間出席すること。 ③試験:前期試験、後期試験を受けること。				
使用教科書等		All Abord!! English Communication I (東京書籍) All Abord! English Communication I 学習書(NHK出版)			
学習上の留意点		スクーリングの進行にあわせて復習をし、レポートに取り組みましょう。			